

# 1. スザノ日伯学園

更新日2013,7,8

1	学校名	Cenibras-Centro Educacional Nipo-Brasileiro de Suzano
2	住所	Rua Dibe Tanus,535 Chacara Reunidas Guaio Suzano-S.P.Cep:08666-180
3	電話・H.P.	Tel:4742-8584 /4743-2657/ 98462-6554 HP URL: <a href="http://www.cenibras.com/">http://www.cenibras.com/</a>
4	創設者名	汎スザノ文化体育農事協会
5	現理事長名	森 和弘
6	開設時期	2006年
7	沿革	福博移民地(1920年代)以来の日本人の教育思考の歴史を経て、汎スザノ文化体育協会が2006年に設立
8	教育理念	知識と能力の開発及び協調性豊かな人材教育
9	教育目標	・知識の向上と開発 ・一人一人の個性を伸ばす教育 ・良き社会人として世界にはばたく人材の育成
10	生徒数	479人 (日系45%) 1～9年生(6～14歳) 日本語学習 60%(約270名) (開校7年目より1年生、2年生は全員日本語学習。3年生～9年生は選択)
11	日本語教師	5人 (JICA 1人/1世・準2世 1人/2世 3人)
12	日本語・日本文化教育課程	継承日本語から外国語へ、10人規模教育が理想、10年間の日本語カリキュラム・教材(学年別)必要、日本語能力3級50%目標。 日本語の勉強を強いると生徒が来ない。ポ語が軌道に乗ったので今後は日本語に力を入れたいが先生の数が少ない。先生は日本で専門的に習ってきてブラジルで教えるのが良い。日本語の先生はいても教員資格をもたない。
13	教科書	1年生・2年生・3年生は学校独自で作成した教材を使用 4年生はひらがな・カタカナ(学校独自で作成) 5年生～9年生は こども日本語① スリーエーネットワーク こども日本語② スリーエーネットワーク
14	施設	プールの温水化が必要。作るべき施設あり(金集めが必要)
15	日本の学校との交流	現在石川県小松市と交渉中(スザノ市・小松市は姉妹都市)
16	機構への要望	日本の協力がないと機構は動かず。各コレジオは土台が違う。 先生の研修、カリキュラム・教材作成、施設の充実化。
17	備考	生徒500人位で質の維持(数は増やさない)。7年前42人で発足。地元では評価されており、生徒数が増えていて経営は心配ない。宣伝不足で日本語学校と思われる。 月謝はスザノで一番安い(文協会員は月謝引き)。 1万㎡の原生林維持(市に対し30年の共同管理申し入れに関し近隣進出企業のコマツ(スザノ市と小松市は姉妹都市)に支援を求めています(2,700万円)。



